

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No. 2909

科目概要記入欄

1. 開設大学名	島根県立大学	科目開講 キャンパス	浜田キャンパス				
2. 科目名	正式科目名	文化人類学			クラス名		
	副題				配当年次	2、3、4年	
					受入学年		
	旧科目名						
	学問分野	番号	11	名称			
	サテライトで開講される科目の科目群		A群	B群			
3. 担当教員名	高谷 紀夫						
4. 単位数	2単位	5. 開講学期	春学期（集中講義）				
6. 開講期間 曜日・時間	2019年 9月 12日（木）～ 2019年 9月 15日（日） 木～日曜日 9:00～18:00						
個別開講日	1回目 /	2回目 /	3回目 /	4回目 /	5回目 /	6回目 /	
	7回目 /	8回目 /	9回目 /	10回目 /	11回目 /	12回目 /	
	13回目 /	14回目 /	15回目 /	16回目 /	試験日	/	
7. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」 () 2. 「基礎知識を必要としない科目」						
8. 募集人数 (総授業定員)	5人 ()人	9. 定員超過時の 選考方法	書類選考				

10. 科目内容・授業計画	<p>【受講者へのメッセージ】</p> <p>異文化研究を通じて展開してきた「異文化理解のための思考法の科学」である文化人類学は、人間存在の多様性を理解する手がかりとしての「文化」概念を利用しつつ、人間の世界そのものが、文化的意味付けの体系であることを示してきた。本講義では、近代社会科学の展開の中で人類学の位置を念頭におきながら、映像資料を活用して人間と文化の関係についての人類学的思考法に関して解説する。</p> <p>【到達目標】</p> <p>(1) 人類学的思考法のエッセンスを習得して、自分のことばで説明できる。 (2) 異文化理解と自文化理解との融合の重要性を理解して、自分のことばで説明できる。 (3) フィールドワークの楽しみを理解して、自分のことばで説明できる。</p> <p>I. 人類学の発想</p> <p>I-1. 人類学的思考法のすすめ?人類学って何? I-2. 異文化理解と異文化誤解の間(はざま)で I-3. 人類学とは何か?のまとめ</p> <p>II. ひとりでは生きていけない?社会という「常識」再考?</p> <p>II-1. ひとりでは生きていけない?社会構造の人類学 II-2. 家族という「常識」再考 II-3. 婚姻という「常識」再考?当人同士だけの問題ではない II-4. 日本社会の親族構造の行方</p> <p>III. 文化は「境界」を超えて?グローバル化とフィールドの現場から?</p> <p>III-1. グローバル化と「親子関係」の行方 III-2. 文化交流論?地図化された世界観の相対化 III-3. フィールドの現場から(1) III-4. フィールドの現場から(2)</p> <p>IV. 「場所」を探し続けている?宗教という「常識」再考?</p> <p>IV-1. 自分の「宗教」観再考</p>		
11. 試験・評価方法	<p>(1) 授業参加の積極度、及び人類学的思考力・表現力を問うレポート(毎日)50%程度。 (2) 最終試験50%程度。 (1)と(2)による総合評価。</p>		
12. 別途負担費用			
13. その他特記事項	<p>文化人類学的思考は「自文化」と「異文化」に対する素朴な問いを出発点とします。人間は誤解する動物です。「異文化」を鏡にして「誤解」から「理解」へ。</p>		
14. サテライト科目の社会人受講について	科目等履修生(単位付与)として受け入れ	可	否
	聴講生(単位認定不要)として受け入れ	可	否